

定例記者会見報告事項(平成19年6月27日)

担当課	福祉課
電話番号	47-1044

事業名等	葦(あし)・蕨(わらび)殉職者追悼80周年記念事業
------	---------------------------

事業の背景

昭和2年(1927年)8月24日、美保関の北東沖の日本海では、日本帝国海軍の連合艦隊60余隻が二軍に分かれ、戦闘訓練が行われていた。台風の中、実践さながらの訓練が実施されていたが、悪天候のため、駆逐艦「蕨」(わらび)の艦腹に巡洋艦「神通」(じんつう)が衝突。蕨は沈没し、92名が艦と運命をともにした。その1分後には駆逐艦「葦」(あし)の艦尾に巡洋艦「那珂」(なか)が衝突し、葦の乗組員27名が海に消えた。

二つの衝突による犠牲者は119名。海軍史上、空前の大惨事に、境港や美保関の人々も懸命に捜索活動に協力したが、収容された遺体は数少なく、今も多くの兵士が海底に眠っている。

境港市では、昭和3年(1928年)に地元の人たちによって建立された慰霊塔(当初は忠魂碑)を中心に犠牲者の追悼を続け、これまでも30周年(昭和32年)と50周年(昭和52年)の節目に記念事業を行ってきた。

事業の目的

境港市花町の台場公園内には、いまでも慰霊塔がそびえ立っている。大惨事から80年の歳月が経過した今、この事故を知る人もしだいに数が少なくなっている。

世界の恒久平和を願う国民として、事故からちょうど80年の平成19年8月、追悼式を開催し、多くの市民に伝え、考える機会としたい。

事業の内容

日時：平成19年8月19日(日)午前10時

場所：台場公園内慰霊塔前(境港市花町)

内容：式辞、追悼の辞、献花、遺族代表謝辞など

出席者：遺族代表、国・県・市関係者、市民関係団体、市民

主催：境港市